

ゲノム編集食品を 知っていますか？

奈良
くらし
手帳
vol.69

近年、新たな育種技術として「ゲノム編集技術※」を用いて品種改良された農作物などが開発され、食品として流通する段階を迎えています。

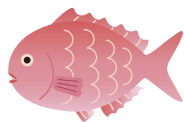
※DNA(遺伝子)の狙った場所を、どこでも正確に改変できる技術のこと。

厚生労働省へ届け出され、公表されている ゲノム編集技術応用食品

GABA含有量を
高めたトマト



可食部が多い
マダイ



成長率が改善
されたトラフグ



現在開発が進められているゲノム編集食品の多くは、自然界で起こりえる突然変異を意図的に行うものであり、通常の品種改良と同程度のリスクと考えられています。

開発中のもの

食品をより安全にするために

例 芽が出て安心なジャガイモ



● ジャガイモの芽や緑色の部分では、ソラニンという毒素が作られ、食中毒の原因となります。

ソラニンの合成過程で働く酵素遺伝子に
ゲノム編集で変異を起こします。

● 食中毒のリスクを
減らしたジャガイモ



問 県消費・生活安全課 ☎0742-27-8681 FAX 0742-22-0300 または県内各保健所

県民だより2023年2月号